

あすまち会議こおりやま 2021 キックオフミーティング 市長挨拶

皆様こんにちは。本日は貴重な時間を割いてお集まりいただき、ありがとうございます。

マザーテレサが「愛の反対は無関心」とおっしゃいましたが、郡山市のことに関心をもってお集まりいただいたことを心から感謝を申し上げます。私も郡山市民の一人として、大変心強く思うところでございます。

現下のコロナウイルス感染症対策のために、皆様には、対話時間は半分に、距離は2倍にとお願いしており、「口角泡をとばして」というわけにはまいりませんが、どうか自由にお話していただきたいと考えております。行政課題には、課題曲と自由曲があると私は思っております、課題曲の方は、例えば2025年、2030年、2040年、2050年、それぞれの目標年次がございます。こうした課題について、毎年着実に政策を進めていきたいと思いますというのが、郡山市に限らず日本全体のスケジュールとなっております。

皆様には自由闊達にお話いただきますが、できれば今申し上げた、2025年問題にはこれが必要ではないか、2030年、2040年、2050年にはこういうことが必要ではないかという形でご検討いただけますと、今後の市政にとりましては、非常にありがたいご提案になると思っております。

一方で、自由曲につきましては、それぞれの皆様の想いを描いていただければと考えております。

また、一貫して共通の課題となるのが「気候温暖化」です。郡山市の長期天気予報を見ますと、月内、少なくとも来週いっぱいくらいは晴天で暑い日が続くのではないかとこの予報ですが、これも異常気象といいたいでしょうか、異常ではなく、これが普通の気候になるのか、温暖化の中でのビジネスを考えなくてはならないと思います。

もう一つは、デジタル化でございます。最近のニュースを見ておりましたら、銀行に支店を置かず、ネット上に支店を設置するという銀行も現れたようです。好むと好まざるとに関わらず、デジタル機器を使うことを前提に、さまざまな課題に取り組んでいくということになりますので、温暖化の中、DX（デジタル・トランスフォーメーション）でさまざまな課題に取り組んでいくというのが、課題曲あるいは自由曲に取り組むことの前提でございますが、皆様との共通認識のもと、この「あすまち会議こおりやま」において将来像を描いていただければと存じます。

最後になりますが、感染症が2倍とも言われるコロナウイルスの変異株もございますが、なによりもお集りの皆様方、そしてご家族あるいは職場の皆様が罹患せず、そしてそれぞれの課題に取り組んでいただけることを心から祈念いたしまして、開会のご挨拶といたします。